



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーナミ

コード番号 9317 URL <http://www.0073.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 正次郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 山本 学

TEL 06-6445-0073

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,507	12.0	89	1.9	86	3.3	2	92.6
23年3月期第1四半期	2,239	4.6	88	158.4	89	145.1	33	82.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 2百万円 (%) 23年3月期第1四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第1四半期	0.24	
23年3月期第1四半期	3.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,352	4,536	48.3
23年3月期	9,396	4,593	48.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 4,512百万円 23年3月期 4,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		7.50	7.50
24年3月期					
24年3月期(予想)		0.00		7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,800	6.0	200	13.1	190	12.9	50	30.1	4.77
通期	9,600	0.3	390	19.1	350	24.5	130	45.4	12.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	10,500,000 株	23年3月期	10,500,000 株
期末自己株式数	24年3月期1Q	34,745 株	23年3月期	33,242 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	10,466,046 株	23年3月期1Q	10,468,749 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[添付資料]

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力発電所の事故により、生産設備の毀損、電力不足による計画停電の影響などにより、生産活動が低下するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

この間、当社グループを取りまく経営環境は、国内貨物の減少や設備投資の低迷等により、荷動きが停滞し、また、荷主企業から物流の合理化、高品質化の要請が強まり、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のもと、本年4月に子会社化した株式会社オーナミSBSによる活性炭等の輸送強化や、営業専門部署である九州支社による営業地域の拡大により、国内ネットワークを強化し、新規顧客の開拓、新たなビジネスチャンスの獲得など積極的な営業活動を展開しました。また、日立造船グループの物流企業として、国内外における物流に関して専門技術を最大限発揮すべく、受注活動に取組んだ結果、当第1四半期連結累計期間の営業収入は25億7百万円と前年同四半期比12.0%の増収となりました。

セグメント別にみますと、物流事業につきましては、シールド掘進機の輸送や、大型プレス機器の梱包輸送等を受注した結果、物流事業の収入は24億12百万円と前年同四半期比2億51百万円(11.7%)の増収となり、セグメント利益は2億1百万円と前年同四半期比6百万円(3.1%)の増益となりました。

その他につきましては、車両等整備作業が増加したことにより94百万円と前年同四半期比16百万円(20.7%)の増収となり、セグメント利益は20百万円と前年同四半期比6百万円(49.0%)の増益となりました。

一方、利益面におきましては、値下げ要求や価格競争激化など厳しい受注環境のなか、収益率改善に向けコストダウンに取り組み、配車の効率化による輸送コストの削減、作業の効率化による業務改善等を推進するなど、積極的な企業努力による利益確保に努めた結果、営業利益は89百万円と前年同四半期比1百万円(1.9%)の増益となり、営業収入に対する営業利益率は3.6%となりました。

営業外収益から営業外費用を差し引いた純額は3百万円の費用計上となり、この結果、経常利益は86百万円と前年同四半期比2百万円(3.3%)の減益となり、営業収入に対する経常利益率は3.4%となりました。

特別損益はありませんが、持分法適用会社の株式を譲渡したことによる、法人税等の増加により税金等調整前四半期純利益から法人税等を差し引いた少数株主損益調整前四半期純利益は1百万円となり、少数株主損失を加えると四半期純利益は2百万円と前年同四半期比31百万円(92.6%)の減益となりました。

また、1株当たり四半期純利益は0.24円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44百万円減少して93億52百万円となりました。流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ82百万円増加して36億62百万円となりました。固定資産の残高は前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少して56億89百万円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が63百万円増加したことによるものであります。

固定資産のうち、投資その他の資産は前連結会計年度末に比べ1億13百万円減少して2億68百万円となりました。この主な要因は、持分法適用会社の株式を譲渡したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ0百万円減少して29億8百万円となりました。この主な要因は、短期借入金が増加しましたが、法人税等の支払による未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13百万円増加して19億6百万円となりました。この主な要因は、退職給付引当金が増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ57百万円減少して45億36百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の配当によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の48.9%から48.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月11日発表の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,099	911,621
受取手形及び売掛金	2,366,389	2,390,756
有価証券	1,195	1,195
繰延税金資産	110,340	110,888
その他	260,037	253,847
貸倒引当金	△5,901	△5,913
流動資産合計	3,580,161	3,662,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	862,904	852,176
土地	4,047,092	4,047,092
その他（純額）	493,420	491,593
有形固定資産合計	5,403,416	5,390,862
無形固定資産		
その他	30,779	30,303
無形固定資産合計	30,779	30,303
投資その他の資産		
投資有価証券	301,328	183,611
その他	98,559	102,759
貸倒引当金	△17,669	△17,669
投資その他の資産合計	382,218	268,701
固定資産合計	5,816,414	5,689,867
資産合計	9,396,575	9,352,262

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,287	783,749
短期借入金	1,232,000	1,400,000
1年内返済予定の長期借入金	194,842	194,842
未払法人税等	241,415	93,576
賞与引当金	222,117	105,804
役員賞与引当金	18,000	5,000
その他	256,782	325,891
流動負債合計	2,909,444	2,908,864
固定負債		
長期借入金	627,459	617,459
繰延税金負債	279,444	277,872
退職給付引当金	654,646	682,251
役員退職慰労引当金	62,510	67,410
特別修繕引当金	28,804	32,764
その他	240,508	229,019
固定負債合計	1,893,373	1,906,776
負債合計	4,802,817	4,815,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	525,000	525,000
資本剰余金	112,420	112,420
利益剰余金	3,916,422	3,840,390
自己株式	△6,083	△6,368
株主資本合計	4,547,759	4,471,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,998	41,303
その他の包括利益累計額合計	45,998	41,303
少数株主持分	—	23,876
純資産合計	4,593,758	4,536,621
負債純資産合計	9,396,575	9,352,262

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収入	2,239,324	2,507,332
営業原価	1,768,353	2,027,083
営業総利益	470,971	480,248
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	144,635	148,934
賞与引当金繰入額	55,679	57,529
役員賞与引当金繰入額	4,440	5,000
退職給付費用	15,232	16,365
役員退職慰労引当金繰入額	2,890	3,705
その他	160,083	159,031
販売費及び一般管理費合計	382,960	390,565
営業利益	88,010	89,683
営業外収益		
受取利息	24	39
受取配当金	3,761	9,263
持分法による投資利益	2,382	—
その他	6,667	1,301
営業外収益合計	12,837	10,604
営業外費用		
支払利息	8,939	7,645
その他	2,811	6,522
営業外費用合計	11,750	14,167
経常利益	89,097	86,120
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,574	—
特別損失合計	17,574	—
税金等調整前四半期純利益	71,522	86,120
法人税等	38,000	84,352
少数株主損益調整前四半期純利益	33,522	1,768
少数株主損失(△)	—	△700
四半期純利益	33,522	2,468

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,522	1,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,648	△4,695
その他の包括利益合計	△9,648	△4,695
四半期包括利益	23,873	△2,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,873	△2,226
少数株主に係る四半期包括利益	—	△700

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。